

## 放射線影響研究所・国立がん研究センターがん対策研究所共同シンポジウム

### 開催案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、放射線影響研究所と国立がん研究センターがん対策研究所は、共同シンポジウムを開催することとなりました。このシンポジウムでは、疫学研究者、がん登録制度の専門家、運営関係者が一堂に会し、知識と経験を共有して、国内外での共同研究の促進を目指します。また、研究者のみならず、政策決定者や患者と一緒にがん登録データの利活用を進め、日本の公衆衛生の向上と国際的な科学の発展に貢献することを目指します。

つきましては本シンポジウムの概要についてご案内いたします。また、本シンポジウムの様子はウェビナーとして一般公開いたします。多くの方にご聴講いただきますようお願い申し上げます。

謹白

放射線影響研究所 理事長 神谷研二

国立がん研究センター がん対策研究所長 松岡 豊

---

### 開催概要

|     |                                                                                   |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| テーマ | がん登録を利用した疫学コホート研究における海外共同研究の推進                                                    |
| 主催  | 放射線影響研究所、国立がん研究センター がん対策研究所                                                       |
| 日付  | 2025 年 12 月 16 日(火) 9:00-17:00                                                    |
| 形式  | 対面式とウェビナーのハイブリッド形式<br>・対面参加は関係者に限ります。一般の方の対面での参加は受け付けていません。<br>・ウェビナーは定員 100 名まで。 |
| 言語  | 日本語と英語 (同時通訳付き)                                                                   |
| 会場  | 放射線影響研究所(広島) 講堂 広島市南区比治山公園 5-2                                                    |

ウェビナー視聴申し込み 申し込みフォームよりご登録ください。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_B8yFGHZJQme4YUnptb6wvA](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_B8yFGHZJQme4YUnptb6wvA)



事務局 (担当: 杉山・歌田・岩見)

〒732-0815 広島市南区比治山公園 5-2

放射線影響研究所疫学部内

e-mail: joint\_sympo2025@rerf.or.jp

電話: 082-261-3131

## プログラム

8:30-9:00 受付

9:00-9:15

開会挨拶

神谷 研二（放射線影響研究所・理事長）

松岡 豊（国立がん研究センター がん対策研究所・所長）

江崎 治朗（厚生労働省 健康・生活衛生局 総務課・課長補佐）

木澤 莉香（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課・課長補佐）

9:15-11:00

### I. がん登録等推進法の立法と運用（日本語＋日英同時通訳）

座長：中山 健夫（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野・教授）

西野 善一（金沢医科大学 医学部公衆衛生学講座・教授）

#### 1. がん登録推進法の構造とその在り方

友岡 史仁（日本大学 法学部・教授）

#### 2. がん登録推進法におけるがん登録データベースと日本の他の医療データベース

松田 智大（国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター・センター長）

#### 3. 全国がん登録データの提供の実際と課題

堀 芽久美（国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター利活用推進室・室長）

#### 4. NDB 等の公的レセプトデータベースの利用における安全管理措置

小西 孝明（国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部・室長）

#### 5. 討論（25 分）（日本語＋逐次通訳）

11:00-11:30

### II. 地域社会におけるがん登録（日本語＋日英同時通訳）

座長：松田 智大（国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター・センター長）

#### 1. 希少がん患者視点のがん登録

大西 啓之（一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク・理事長）

11:30-13:00 休憩

13:00-14:00

### III. 日本における疫学研究（英語＋日英同時通訳）

座長：澤田 典絵（国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部・部長）

永田 知里（放射線影響研究所 疫学部・部長）

#### 1. 寿命調査：原爆被爆者の追跡研究

坂田 律（放射線影響研究所 疫学部・副部長）

#### 2. 国際共同研究に参加する重要性—多目的コホート研究—

澤田 典絵（国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部・部長）

#### 3. 全国がん登録データの疫学共同研究における利用に関して：J-MICC 研究の経験

松尾恵太郎（愛知県がんセンター がん予防研究分野・分野長）

14:00-14:10 休憩(10 分)

14:10-15:30

IV. 公衆衛生や治療向上への国際共同研究事例(英語+英日同時通訳)

座長: 井上 真奈美(国立がん研究センター がん対策研究所・副所長)

松尾 恵太郎(愛知県がんセンター がん予防研究分野・分野長)

1. アジアコホートコンソーシアムの概略

井上 真奈美(国立がん研究センター がん対策研究所・副所長)

2. 全国がん登録、がん治療データとコホートの連結:英国の経験

エイミー バーリントン(がん研究所 臨床がん疫学・グループリーダー)

3. 米国コホート研究におけるがんアウトカムの評価:仮想統合登録(the Virtual Pooled Registry)からの知見

ダンピン リュウ(米国国立がん研究所 がん疫学・遺伝学部 生物統計学部門・主任研究員)

4. 国際生存率調査 CONCORD プログラムに基づく日本のがん対策評価

杉山 裕美(放射線影響研究所 疫学部・副部長)

15:30-16:30

5. 討論(60 分)(英語+逐次通訳)

全国がん登録データを活用した国内・国際共同研究の実施方法

16:30-16:45 閉会挨拶

井上 真奈美(国立がん研究センター がん対策研究所・副所長)

Preetha Rajaraman(放射線影響研究所・副理事長)